

## SALT (Systematically Attainable Longevity Target : ソルト) 法

SALT とは、効果的な健康施策により達成可能な目標を示す新たな健康指標である。

これまでの経験から提起された健康課題に対して、効果的な健康施策を打ち出し取り組みを進めた地域の指標（死亡率）は、比較的短期間で改善し、全国の上位 4 分の 1（都道府県であれば概ね 12 番目）位までは上昇すると考えられる。

この達成可能レベルの死亡率（「期待死亡率」という）を都道府県の人口に掛けると期待死亡数が得られる。この期待死亡数と現実の死亡数（「実死亡数」という）の差は、行政が課題を的確に捉え、トップレベルの仕事をすれば削減することができる死亡数ということができる。

この差が正となるものの総和を SALT と呼ぶ。（差がマイナスとなる場合は、これまでの施策が有効であったということであり、引き続き現状維持の努力を期待するため、SALT の集計上は 0 とする）。

SALT = [年齢階級別実死亡数 - (SALT 期待死亡率 × 年齢階級別人口)] が  
正となるものの総和